

SUN

Vol.63
2022.10

応援します！所沢の農業を担う女性たち

所沢市は、都心に近くベッドタウンという印象が強いですが、少し郊外に行くと畑が広がる農業が盛んな地域もあります。全国的に有名な狭山茶や県内有数の収穫量を誇る里芋、人参、ほうれん草などの露地野菜の生産、さらに観光農園や畜産なども営まれています。そこでは、400年続く農家や新たに農業を始めた人など、様々な人達が今日も農作業に勤しんでいます。

一方、地球温暖化、資材や燃料の高騰、農家の高齢化など、農業を取り巻く環境は厳しくなっています。

そんな厳しい状況の中でも、夢を持ってそれぞれのやり方で農業を営む素敵な女性3人を紹介します。

会社員から転身！

熊坂亜矢さん（中新井在住）

会社員から転身して新規就農者（※）へ。農業体験で出会った所沢の土や農家の人々に魅せられ、畑を借りてスタート。その後結婚し、小学生の息子さんの子育て中です。



いちごで地域活性化！ 所沢北田農園 北田喜久江さん（下富在住）

夫は江戸時代から続く農家の息子だが、農業に関わり始めたのは40代になってから。地元を元気にするために始めた観光農園「苺のマルシェ」は、下富に人を呼ぶスポットになりました。

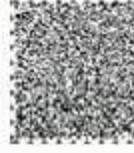


有機農業一筋！ 陽子ファーム 池田葉子さん（城在住）

長男のアトピーをきっかけに、無農薬・無化学肥料の有機農業を続けて40年。今では多くの有名ホテルやレストランで、陽子ファームの安全で美味しい野菜が使用されています。

※ 新規就農者
所沢市では、農業大学校や地域の農家での基礎研修、豊農実践研修の終了後、就農を判定する会議で認められた人をいいます。

情報を音声でも聞けます



1

2

有機農業一筋！ 池田さん



これからの人へ一言



熊坂さん

農業は、男性が主体となっている場合が多いと思うかもしれません、女性だからこそできることもあると考えます。女性で新規就農者はまだ私一人ですが、所沢には良い土があり、農家や新規就農者をはじめ協力してくれる人達もいます。さらに、人口が多く、消費者が近くにいるという恵まれた地域です。自分のやり方でぜひ挑戦してください！



北田さん

農家の女性はみな働き者で、いないと農業が成り立たないはずです。もっと主的に経営などを含めて農業に関わっていったほうが良いと思います。消費者は女性が多いので、女性目線のアイディアを積極的に取り入れた農家のほうが収益が伸びるというデータもあるそうです。

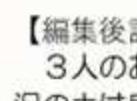
自分の生涯を振り返ったときに、楽しかったと言える働き方ができたらいいなと常に思っています。失敗を恐れず、やりたいことにチャレンジしてください。



池田さん

人の間で話題が一番大事だと思います。信用されて顔の見える関係性ができると、いろいろな人が助けてくれ、困難も乗り越えられます。子育て中多くの人に助けてもらいました。子は働く親の背中を見て育ち、今は一緒に農業をしています。

料理を作ることが多い女性の視点は、野菜作りに活かされると思います。応援します。



【編集後記】

3人のお話を3つの共通点がありました。①所沢の土は良い ②農作業は嫌なことを忘れて集中できる ③作物は嘘をつかないでした。これが所沢の野菜が美味しい理由なのかなと思いました。

SUNでは、今後も様々な分野で活躍する女性を紹介していきます！

※ 武蔵野の落ち葉堆肥農法

所沢市がある武蔵野地区では、江戸時代から平地林（ヤマ）を育て、落ち葉を堆肥として畑に入れる土づくりを行ってきました。この農法は「武蔵野の落ち葉堆肥農法」として、平成29年に日本農業遺産に認定されています。

これからの夢は？

野菜を欲しい人が畑に来て自分で収穫して持つて帰れる仕組みを作り、陽子ファームを「みんなの台所」にしたいです。直接畑に来れば、過剰包装も不要になるし、新鮮な野菜を提供できます。

食べ頃になったものを収穫して、個人宅やホテル、レストランへ直接配達しています。一番おいしいときにお届けできるので好評です。

農業をしていて良かったと感じることは？

有機農法のおいしい野菜のおかげで、息子のアトピーも治りました。

畑に行くと無心になり辛いことも忘れられます。土や作物からエネルギーをもらい、力が湧いてきます。忙しくて大変だけど、野菜は人を裏切らない。やはりやるほど楽しくなります。

お客様の期待やお褒めの言葉も私も活力を与える宝物です。

この仕事を天職だと思っています。

これからの夢は？

野菜を欲しい人が畑に来て自分で収穫して持つて帰れる仕組みを作り、陽子ファームを「みんなの台所」にしたいです。直接畑に来れば、過剰包装も不要になるし、新鮮な野菜を提供できます。

日本でも有機農法が主流となり、充分な補助が受けられるようになることを期待しています。所沢の土は、何でも作れる良い土です。そこでできるおいしい野菜を、所沢の市民の方にはぜひ食べてほしいです。

会社員から転身！ 熊坂さん

いちごで地域活性化！ 北田さん

農業をするきっかけは？

30代になった頃はバブル期で華やかな時代でしたが、私は心が疲れていた人から必要と思われ喜ばれる仕事がしたいと思うようになりました。会社帰りに通っていた大学で「日本人は農耕民族」という教授の言葉を聞き、人が生きていく上で一番必要な食べ物（野菜）を作り、原点に戻ってシンプルに生きよう決意しました。



なぜ、所沢を選んだのですか？

友人から下富の農家を紹介され、農業体験をさせてもらったのがきっかけです。当時は新座市に住んでいて、所沢は駅周辺しか知りませんでした。こんなに土地が豊かで農業が盛んなことに衝撃を受け、さらに指導していただいた農家や畑に魅了されました。

現在の状況は？

市内4か所の計1ha(10,000m²)の畑で、里芋、人参、なすなど80種類以上の露地野菜を栽培しています。農作業は妹と二人だけで行っているので、生産できる野菜量は限られます。個人宅や直売所、市内のいくつかの個人商店などに卸せる分だけで、農業だけで生活するのは厳しいです。毎日、朝早くから夜まで農作業や野菜の配達に追われていますが、息子のことを考え、日曜日は子育てに集中するためにしっかり休むことにしました。

農業をしていて良かったと感じることは？

農作業のような細かい作業が好きなので、畑に行くと他のことを忘れて集中できます。畑では人間関係のストレスもなく、毎日幸せを感じています。

これからの夢は？

いつかは、学校給食に野菜を提供したいです。所沢の良い土でとれた美味しい野菜を、地元の子どもたちにもっと食べさせてあげたいと思っています。これまで農業の指導や土地を貸してくださった人達など、所沢でお世話になったことへの感謝を込め、地域貢献がしたいです。



QR code

農業をするきっかけは？

4人兄弟の末っ子だった夫が農業を継ぐことになり、私も子育てがひと段落した40代になって関わることになりました。

なぜ、いちごの観光農園を？

農業を手伝い始めた頃、野菜作りが苦手でこぼしていると、息子に「やらされていると思ってるうちは何をやってもダメ」と言われたのをきっかけに、自分で作りたいと思うもの、自分らしくできるものを模索していました。同じ頃、富岡小学校の新入生が60人となり、この地域の人口減少に危機感を感じ、地域を元気にするために他から人を呼ぶ方法を考えました。そして、農業と観光の一体化と人々を呼べて自分が好きな食べ物「いちご」を組み合わせ、いちご狩りのできる観光農園「苺のマルシェ」にたどり着き、「これしかない！」と思いました。



「苺のマルシェ」の現状は？

いちご栽培を始めて8年。土、肥料、水など細部にこだわりながら、4,500m²のハウスで「あまりん」「かおりん」など7~8種類を育てています。いちごは、とても繊細で病気になりやすいので、作業は集中力が必要で気が抜けませんが、良いものを作るために集中して日々と作業をするのは嫌いではありません。

また、腰をかがめなくてもいちごが取れるように栽培位置を高くしたり、ベビーカーや車椅子でも入れるように通路を広くしたりなどの工夫もしています。おかげさまでリピーターも多く、来園者の4割は東京から多摩地区の人が多く、シーズン中は大変賑わっています。

農業をしていて良かったと感じることは？

いちご狩りに来た人達に喜んでもらえたと「また頑張ろう」と意欲が湧きます。いちごづくりに関してはプロと思ってもらえると嬉しいです。

北田さんのいちごを使ったモスバーガーのいちごシェイクは、令和2年からこれまでに18万杯売り上げています。

これからの夢は？

春はいちご狩り、秋にはさつまいも掘りなど、1年を通じて人を呼べる農園にしたいと思っています。また、自宅を古民家風カフェに改装し、脱・都会のトトロの世界のような癒しの雰囲気を出せばと思っています。

他の場所へ引っ越すことのできない農家なので、どのように次世代にバトンを渡せるかを考えています。



パープルリボンキャンペーン

11月12日～11月25日は女性に対する暴力をなくす運動期間です



◆パープルリボンキャンペーン

令和4年11月21日（月）～11月22日（火）
会場：市役所1階ロビー
パープルリボンツリーの飾り付け・展示、パープルリボンや啓発パンフレットの配布を行います。



◆パープルリボンコンサート

令和4年11月20日（日）
会場：ふらっと会議室
ふらっとで活動している団体によるコンサートです。

◆パープルリボンツリーの展示

令和4年11月12日（土）～12月26日（月）
会場：こどもと福祉の未来館
パープルリボンツリーの飾り付け・展示を行います。

ふらっと女性相談

無料

女性の様々な悩みごとの解決のために、3つの相談事業を実施しています。パートナーとの関係、家族や職場のトラブル、体のこと、生き方など、お気軽にご相談ください。なお、相談時の託児（1歳～未就学児まで）を行っていますので、利用を希望される方は、予約の際に申込みください。

電話相談 月・水・金・土曜日 第2・第4火曜日 午前10時～午後4時 (直通) 04-2921-2333

何でも聞きます相談 水曜日 午前10時～午後4時 事前予約が必要です。
(予約電話) 04-2921-2220

カウンセリング 第1・3・4火曜日 午前10時～午後4時 第2火曜日 午後2時～午後8時 第4金曜日 午前10時～午後4時

カウンセリングの予約状況は、市ホームページでも確認できます。右のQRコードを読み取り又は所沢市ホームページ内で「女性の生き方相談」と検索



ふらっと案内図

所沢市男女共同参画推進センターふらっと

所沢駅西口から徒歩10分 西所沢駅から徒歩20分 木曜休館

※駐車場はありません。

■開館時間：午前8時30分～午後9時30分

〒359-1122 所沢市寿町27-7 コンセールタワー所沢2F
[TEL] 04-2921-2220 [FAX] 04-2921-2270
[URL] http://www.city.tokorozawa.saitama.jp
[E-Mail] b9212220@city.tokorozawa.saitama.jp